

平成 28 年度冬の交通事故防止県民運動実施要領

1 実施期間

平成 28 年 12 月 1 日(木)から 12 月 10 日(土)までの 10 日間

2 運動の趣旨

冬季は、積雪や凍結による道路環境の悪化による交通事故の多発が懸念されることから、交通ルールの遵守と交通マナーの実践により、交通事故防止の徹底を図る。

3 運動の重点

- ① 冬道用タイヤ装着の徹底
- ② 飲酒運転の根絶
- ③ スピードダウンの徹底
- ④ 反射材用品等の活用推進

4 スローガン

「その酒で 失う信頼 家族の未来」

5 推進事項

推進主体	推 進 事 項
家庭では	<ul style="list-style-type: none">○ 道路横断時の安全確認や自転車のライト点灯など具体的な声かけをし、夕暮れ時や夜間外出時には、家族全員が反射材用品等の活用を習慣付ける。○ 道路を横断する時は、横断歩道を渡り、近くに横断歩道がない場合は、明るい場所や見通しの良い安全な場所を選ぶように注意し合う。○ 後部座席を含む全ての座席でシートベルト（チャイルドシート）の着用を徹底する。○ 飲酒運転の危険性について話し合い、「飲酒運転 4（し）ない運動」を実践する。○ 日頃から、滑る・止まらないなど冬道の危険性や特徴について話し合うとともに、安全なスピードで走行するよう注意し合う。
地域や職場では	<ul style="list-style-type: none">○ 町内会、自治会、母の会、老人クラブなどにおいて、高齢者や子どもを対象とした交通安全講習会を開催し、地域ぐるみで交通安全意識を高める。○ 飲酒運転を許さない環境をつくり、飲酒運転の根絶を図る。○ 安全運転管理を徹底し、飲酒運転の反社会性及び冬道の危険性について指導する。特に、冬道に慣れていない転勤者などへの指導を徹底する。○ あらゆる機会を捉え、余裕を持った行動とスピードダウンを啓発する。
関係機関・団体では	<ul style="list-style-type: none">○ 高齢者や子どもを対象とした参加・体験型の交通安全教育を積極的に推進する。○ 飲食店でのハンドルキーパー運動を推進し、運転者には絶対酒類を提供しない。○ 積雪、凍結期の橋梁やトンネル出入口など、冬道に潜む危険と安全運転のポイントについて周知する。○ 各種広報媒体や各種行事を活用し、飲酒運転の根絶やスピードダウンの徹底などを広報する。
運転者の皆さんは	<ul style="list-style-type: none">○ 歩行者・自転車利用者に配慮した思いやりのある運転に努め、歩行者などの保護を徹底する。○ 夕暮れ時には、歩行者や他の車両に自車の存在を知らせるため、ライトを早めに点灯し、夜間は、原則上向きライト走行を励行し、早めに歩行者や自転車を発見することにより事故防止を図る。○ シートベルトを自ら正しく着用するとともに、後部座席を含む全ての同乗者にシートベルト（チャイルドシート）を正しく着用させる。○ 飲酒運転の違法性、責任の重大性を認識し、飲酒運転は絶対しない。○ 早めに冬道用タイヤに交換し、積雪・凍結路の走行に備える。○ 降雪や凍結など交通環境に応じた適正な運転を行うなど、冬の安全運転（いち、にっ、さん）運動を実践してスリップ事故を防止する。

飲酒運転 4（し）ない運動

- 1 運転するなら酒を飲まない。
- 2 運転する人に酒を提供しない。
- 3 酒を飲んだ人に車を提供しない。
- 4 酒を飲んだ人の車に同乗しない。

冬道の安全運転（いち、にっ、さん運動）

- 1 一割スピードダウンしよう。
- 2 二倍の車間距離をとろう。
- 3 三分早めに出発しよう。